

エコアクション21 環境経営レポート

大村印刷25期版

対象期間：2024年7月1日～2025年6月30日



発行日 2025年9月1日作成



大村印刷株式会社

目 次

I. 事業活動の概要	P1
事業活動の概要(2)	P2
II. 環境経営方針	P3
SDGsへの取組み	P4
III. 環境経営目標	P5
IV. 環境経営計画の具体的な取組み	P6
V. 環境実績の結果	P7
VI. 環境活動の取組み結果の評価	P8
次年度への新たな取組み		
VII. 環境関連法規等の遵守状況評価と結果	P9
VIII. 代表者による全体評価と見直しの結果	P9

I. 事業活動の概要

1. 事業社名及び代表者名

大村印刷株式会社（創業明治12年）

代表取締役社長 能登 健太郎

2. 所在地

〒920-0211

金沢市湊1丁目7番地1

3. 環境保全関係の責任者、担当組織及び連絡先

環境管理責任者 印刷課 北口 良勝

担当組織 環境委員会

連絡先 TEL 076-239-3966

FAX 076-239-3969

E-mail yoshida@omura-p.co.jp

4. 事業の内容

①認証・登録範囲 大村印刷株式会社 本社

②事業活動(対象範囲)

商業印刷物の制作・印刷・加工・販売

③環境経営レポートの対象期間及び発行日

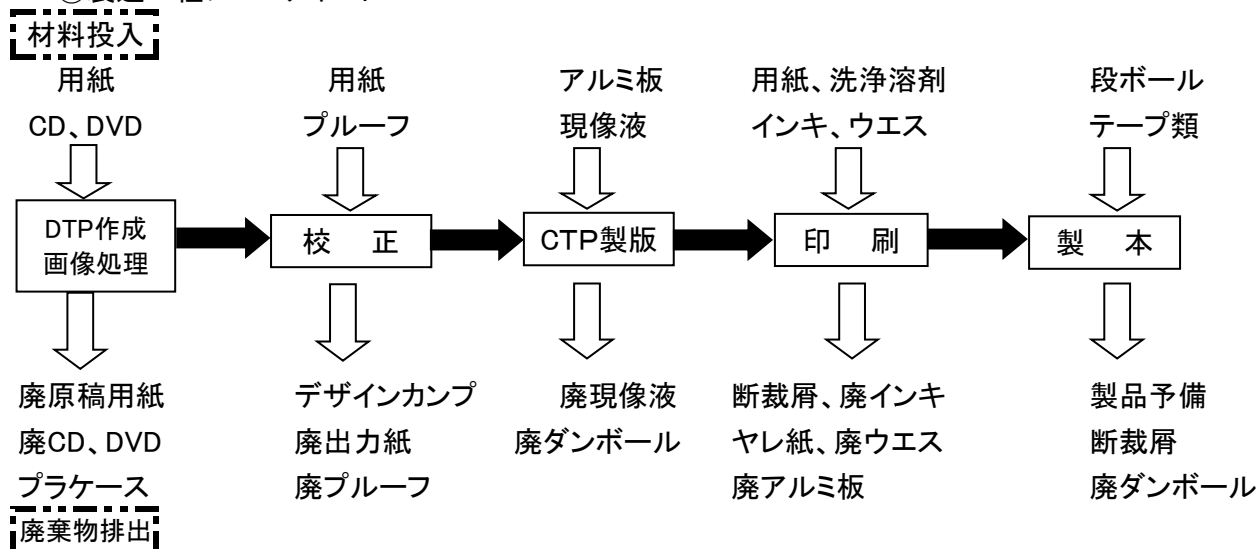
2024年7月1日～2025年6月30日（大村印刷25期）

2025年9月1日作成

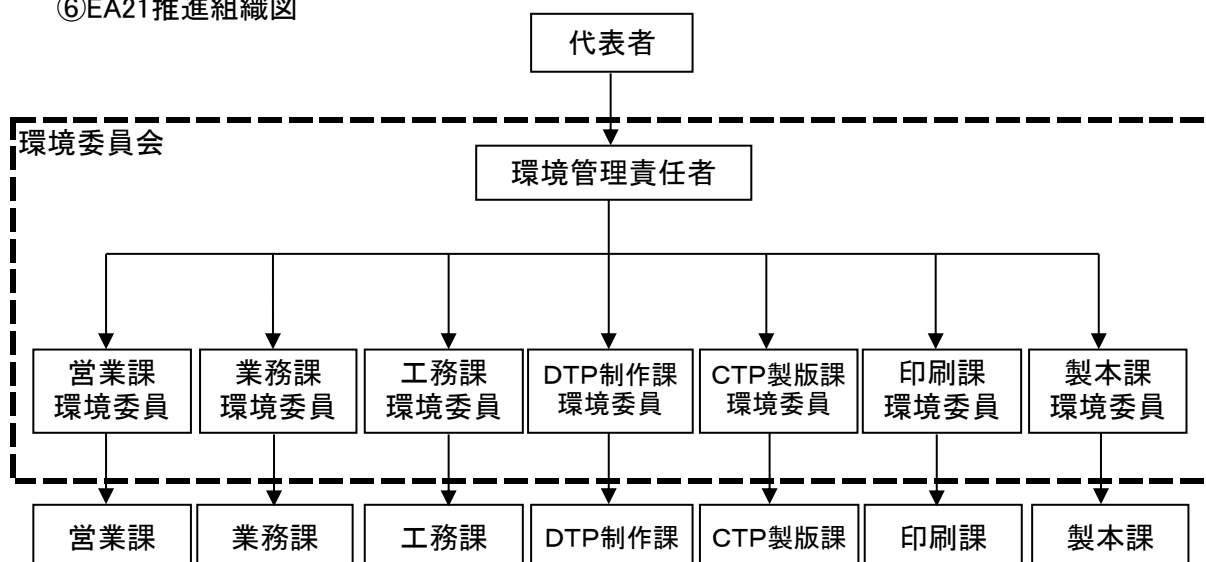
④主な原材料

印刷用紙 アルミ板 平版用印刷インキ 印刷機用洗浄溶剤 段ボールケース等

⑤製造工程フローチャート



⑥EA21推進組織図



【責任者の役割】

代表者	環境経営方針の制定
	環境管理責任者の任命
	環境保全に関する人、もの、資金の提供
	エコアクションシステムの見直しをする
環境管理責任者	エコアクション21活動責任者
	環境経営レポートの作成、公開
	環境目標、計画の作成と進捗管理
	環境関連法律の順守評価
環境委員会	環境管理責任者の補佐
	取組項目のチェック
	進捗管理のデータ収集、整理
	取組項目の社員指導

5. 事業の規模

紙購入量	201トン（大村印刷25期:2024年7月1日～2025年6月30日）
従業員数	34人（大村印刷25期平均従業員数）
延床面積	2,496m ²

6. 環境経営レポートの公表の方法

- (1) 当社のホームページに掲載して公表します。
- (2) 当社の事務所に書面で備え付け、閲覧に供します。

Ⅱ. 環境経営方針

基本理念

私たち大村印刷株式会社は、地球環境の保全が人類共通の重要課題の一つであることを認識し、さらに、自らが印刷事業者の一員として『紙』等の資源を多く扱う責任ある立場であることを良く理解し、その事業活動において、可能な範囲で最大限『省資源』、『廃棄物の削減』、『汚染の予防』に努めながら、環境保全に配慮した生産活動を展開することで、印刷文化への貢献と同時に、『持続可能な社会の実現』を目指します。

基本方針

1. 環境負荷を低減するために以下のことに取り組みます。
 - ①電力使用量の削減
 - ・印刷機等生産設備の高効率な稼動と、不必要な電灯の消灯等
 - ②化石燃料の削減
 - ・空調設備の設定温度と稼動の管理、車両のエコドライブの推進等
 - ③廃棄物の削減
 - ・廃インキ、刷版廃液、不燃物の管理徹底と適正処理等
 - ④より一層のリサイクルとリユース、リデュースの推進
 - ・印刷用紙のムダ排除、ヤレ紙、断裁屑、ダンボール、その他包材等の分別徹底と、コピー用紙の再利用や、リユース、リデュースの活動推進
 - ⑤水使用量の削減
 - ・全社的な節水の推進
2. 環境関連法規を遵守します。
3. 環境負荷の低減目標や運用計画は、定期的に見直し、継続的に改善に努めます。
4. 環境経営方針を全社員に周知します。
 - ・指導や社内教育を通じて、環境保全に関して全社員に常に高い意識を求め続けます。
5. 環境経営レポートを公表することで、社内外に対して環境保全への高い意識と、保全活動への参加を促します。

2024年2月1日

大村印刷株式会社

代表取締役社長 能登 健太郎

【大村印刷の環境経営方針とSDGsへの取組み】

大村印刷株式会社は印刷文化への貢献と同時に「持続可能な社会の実現」をめざし、

次のようにSDGsへ取り組みます。

★は重点項目、●は関連項目

SDGsの目標とターゲット		3	6	7	11	12	13	15	17
		すべての人に健康と福祉を	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	住み続けられるまちづくりを	つくる責任つかう責任	気候変動に具体的な対策を	陸の豊かさも守ろう	パートナーシップで目標を達成しよう
		3. 9	6. 4	7. 3	11. 6	12. 2 12. 5	13. 2 13. 3	15. 1	17. 17
		る病壊有減し水水 のの有害からての利 件汚化学すす水の持用 数を染学不続の効 をによ物質及能率を 大幅に死亡大採善し 削減及び気・人の取 させ疾土を確を保	減し水水 からての利 すす水の持用 不続の効 能率を 改善し 、淡	倍エ 増ネル させギ るー 効率の 改善率 を	悪に大 影注の 響意の をし、質 軽及 減都 市 の環 境上 の管 理	の3を天 発R達然 生の成資 を推す源 進の持 進進続 により可 、廃能 棄利 物用	能気び気 力候計候 を変画動 改動に織 善動対策 するに込 対するむ 人的対 する人 的	能ス陸 なの生 利保生 用全態 を系 確回及 保復 するび その 持サ 続一 可ピ	奨社効 励会果 ・の 推パの 進ト公 ト的 ナ、 ー官 シ民 ッ、 シ市 ップ を民
環境経営方針	取組内容								
1	電力使用量の削減			★			●		
	空調温度の適正管理、消灯の徹底			★			●		
2	化石燃料の削減			●		★	●		
	車両のエコドライブの推進			●	●	★			
3	廃棄物の削減	★			●				
4	印刷用紙の無駄をなくす					★		●	
	3Rの推進					★		●	
5	水使用量の削減		★						
6	法規制の遵守と地域社会との連携								★

Ⅲ. 環境経営目標（2024年2月1日作成）

大村印刷25期の目標は、2024年度の目標を継続する

2023年度	2024年度	25期	26期	27期
2023年1月1日～ 2023年12月31日	2024年1月1日～ 2024年6月30日	2024年7月1日～ 2025年6月30日	2025年7月1日～ 2026年6月30日	2026年7月1日～ 2027年6月30日

【今後3年間の目標】

・二酸化炭素排出量 25期以降は付加価値当たりの排出量を2023年度比1%削減とする。

	単位	25期	26期	27期
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	137,161	135,789	134,431
付加価値当り排出量	kg-CO ₂ /百万円	564	559	553

電力の二酸化炭素排出係数：0.48kg-CO₂/kWh（北陸電力2022年度実排出係数）

・廃棄物排出量 25期以降は付加価値当たりの排出量を2023年度比1%削減とする。

	単位	25期	26期	27期
廃棄物排出量	ton	76.4	75.7	74.9
付加価値当り排出量	ton/百万円	0.31	0.31	0.31

・リサイクル率 25期以降は現状維持とする。

	単位	25期	26期	27期
リサイクル率	%	88.6	88.6	88.6

・水使用量 25期以降は付加価値当たりの排出量を2023年度比1%削減とする。

	単位	25期	26期	27期
水使用量	m ³	525	519	514
付加価値当り使用量	m ³ /百万円	2.16	2.14	2.12

付加価値額の年度別推移

	単位	25期	26期	27期
付加価値額	百万円	248	253	258

・印刷工程での不良品率の改善

25期	①再作業伝票等により率を数値化する。
	②品質管理スタッフと連携して改善をする。
	③印刷課ミーティングで改善を検討する。

・化学物質の管理強化

25期	①使用している化学物質のSDSを管理する。
	②化学物質の使用量を記録、管理する。
	③代替物質への変更を検討する。

・グリーン購入

25期	営業活動として、顧客にFSC認証印刷用紙の使用を進める。
-----	------------------------------

IV. 環境経営計画の具体的な取り組み

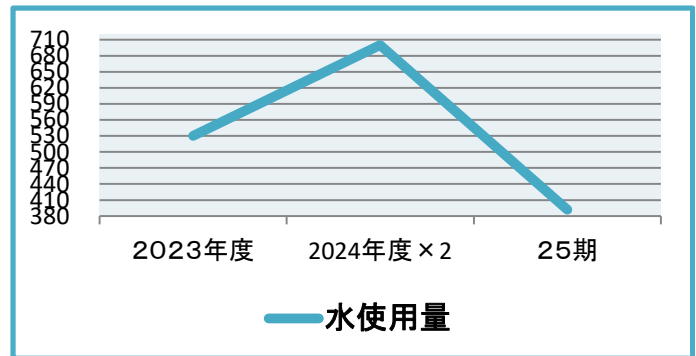
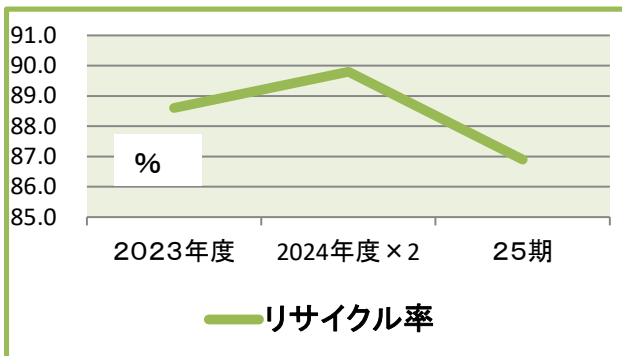
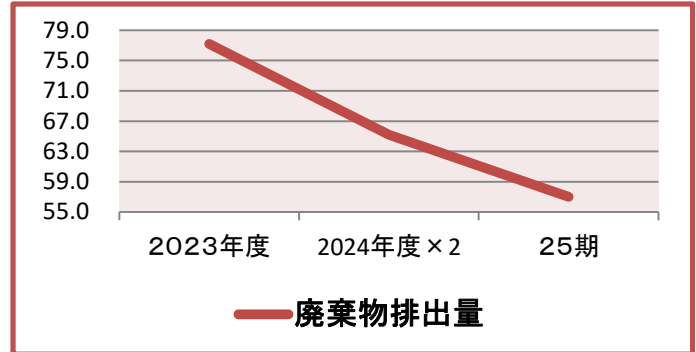
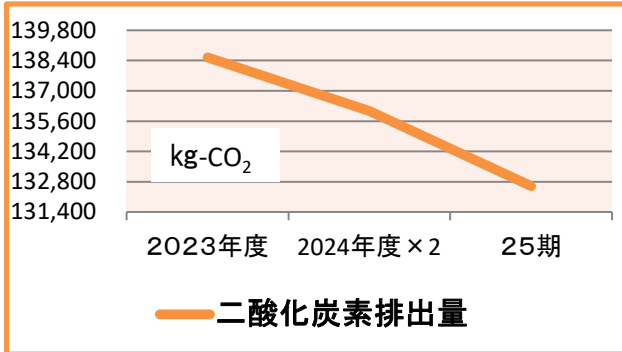
各課ごとの取り組み項目

共同使用部分チェックリスト	
◎照明の切り忘れがないか？ 必要のない照明を使っていないか？	
◎換気扇(ロスナイ)の切り忘れがないか？必要のない換気扇(ロスナイ)を使っていないか？	
◎水道の止め忘れがないか？	
◎水道の漏れ、トイレの故障がないか？	
◎エアコンの切り忘れがないか？必要のないエアコンを使っていないか？	
通用口、下足室	17:00迄
通用口、下足室	17:00以後
給湯室	17:00迄
給湯室	17:00以後
2F フィルム倉庫	
食堂	
男女ロッカー室	
2F会議室、2F階段	
荷捌室、車寄せ	
工場2F倉庫	
リフトエレベータ室	
工場1Fトイレ	
営業課チェックリスト	
①12:00～12:45及び17:00以降、照明スイッチのON・OFFを頻繁に行う。	
②帰宅の前に、ノートパソコンの電源のON・OFFの確認をする。	
③営業車を使用するにあたってのエコドライブを意識する。	
④各自区別してリサイクルBOXにリサイクル用紙を入れてリサイクル量を増やす。	
⑤空調ON・OFFの徹底及び営業時間外での電源OFF！！	
業務課チェックリスト	
①昼休み及び17:00以降は照明のON・OFFをこまめに行う。	
②エアコンの温度管理の徹底、無駄な使用はしないこと。	
③ポットの水を追加する際、入れすぎないようにする。	
④個人情報に含まれていない紙はリサイクルボックスに入れる。	
⑤各自帰宅の際、PC電源を必ずOFFにする。	
工務課チェックリスト	
1. コピー用紙の枚数チェック	
2. 電話内容の要点を整理し、スムーズに伝える	
3. 制作入稿への自らの再認識	
4. 伝票が正しく記載されているか	
5. 製版への正確・的確な指示が出来ているか	
6. 印刷設計時の再確認 (ムダ取り、判型、予備枚数)	
7. 印刷後の刷取りの確認	
8. 退社時の機の整理整頓	
制作課チェックリスト	
①誰もいない部屋は照明のスイッチOFF	
②使用するOA機器のみ電源ON	
③エアコンの推奨温度管理の徹底	
④シュレッダーを使用する際、紙とCDとで分別出来ているか	
⑤作業の効率を良くするため机の上の整理・整頓	
⑥出力を出した際に、無駄な紙の使い方をしていないか	
⑦ゴミの分別を徹底し、リサイクル量を増やす	
製版課チェックリスト	
1. 廃液を減らす。(週1回)	
2. ブルーフ出力時の無駄紙を減らす。	
3. 誰も部屋に居ない時に照明が点いていなかったか。	
4. ブルーフの不要な切れ端は細かく、ちぎり捨てる。	
5. エアコンの推奨温度管理を徹底する。	
6. 版に掛ける名前の紙は使用済み用紙の裏面を再利用したか。	
7. 水道を流しっぱなしにできなかったか。	
8. ブルーフの出力機のクリーニングを朝一に行う。	
9. 現像機は朝一に版をとお試し運転する。	
印刷課チェックリスト	
1. 照明、換気扇の切り忘れ、必要のない電力使用の削減	
2. 3ヶ月毎に、エアコンフィルターの点検清掃をする	
3. 印刷室内の温度、湿度管理を徹底する	
4. 再生できる紙の分別を徹底して、リサイクル量を増やす	
5. 溶剤1斗缶(再生金属)を廃棄する時、中を適切に処理してからリサイクルする	
6. 最新のSDSをチェックして、PRTR法の指定物質を含む化学物質の管理	
7. 本刷り前の再確認(作業伝票のチェック等)をして、刷り直しトラブルの防止	
8. 効率の良い生産計画を立てて、残業時間の短縮を進める	
製本課チェックリスト	
①各自、作業伝票を確認して、包装ミスやラベルの貼りまちがいを削減	
②添付文書時の手洗い・コロコロ・帽子の中にきちんと髪を入れることを徹底する	
③エアコンの温度管理・使用時間のチェック	
④雑屑の種類別を徹底する	
⑤使用していない折機や照明の電源は切る	

V. 環境実績の結果

【過去3年間の実績】 電力の二酸化炭素排出係数:0.48kg-CO₂/kWh(北陸電力2022年度実排出係数)

	単位	2023年度	2024年度×2	25期
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	138,546	136,072	132,596
廃棄物排出量	ton	77.2	65.2	57.0
リサイクル率	%	88.6	89.8	86.9
水使用量	m ³	530	700	392

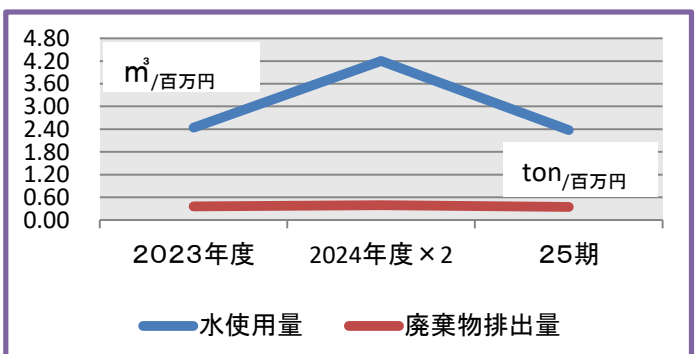
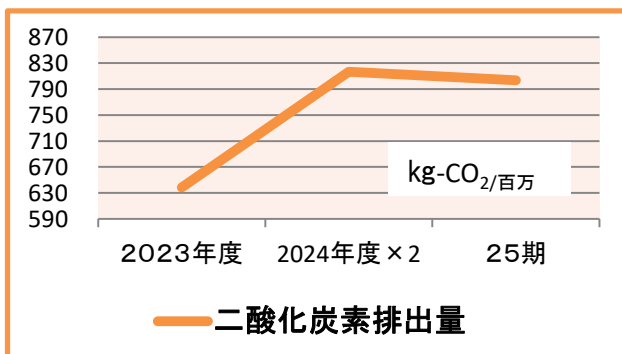


付加価値額の年度別推移

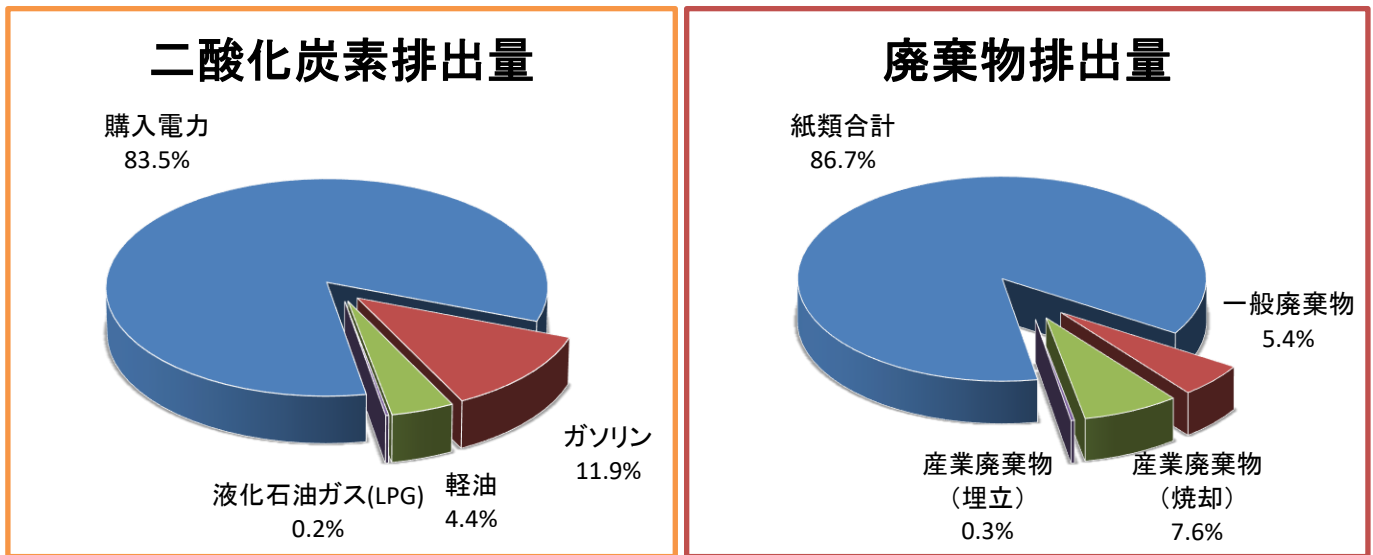
	単位	2023年度	2024年度×2	25期
付加価値額	百万円	217	167	165

【付加価値額当りの実績】

	単位	2023年度	2024年度×2	25期
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /百万円	638	817	804
廃棄物排出量	ton/百万円	0.36	0.39	0.35
水使用量	m ³ /百万円	2.44	4.20	2.38



VI. 環境活動の取り組み結果の評価



大村印刷25期の二酸化炭素排出量の割合は、購入電力が約84%、ガソリン約12%、軽油が約4%で、購入電力が二酸化炭素排出量の大部分を占める。廃棄物排出量の約87%は、循環資源として再生利用される紙類である。

【付加価値額当りの大村印刷25期の計画と実績】

	単位	計画	実績	実績/計画
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /百万円	564	804	1.43
廃棄物排出量	ton/百万円	0.31	0.35	1.13
水使用量	m ³ /百万円	2.16	3.24	1.50

25期の実績値では、必須3項目で減少し良い結果が得られたが、付加価値当りの実績値では、大幅な増加となった。付加価値額の減少が原因だと思われる。今後更に、改善すべき点を修正して、継続的に取り組んでいかなければならない。

【次年度への新たな取り組み】

- ・PRTR法指定化学物質を、早期に全量対象外に変更する。
- ・各課ごとの取り組み項目の、順次新たに内容を変更する。
(但し、継続的に必ず行わなければならない項目は対象外とする)
- ・各課でミーティングを行い、情報を共有して、問題解決に取り組む。
- ・業務システムの変更により、昨年度まで収集していた不良率のデータを早急に収集出来るようにする。

VII. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法規名	当社の遵守内容	チェック日	確認者
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善に関する法律 (PRTR法)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用している化学物質すべてのSDSを管理して、取り扱いの注意点を認識する ・使用している化学物質の使用量を記録する ・最新のSDSを確認する 	2025年 6/30	北口
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃掃法)	<ul style="list-style-type: none"> ・管理票(マニフェスト)を管理し、台帳を作成して管理する ・契約書(許可証、有効期限)のチェック ・管理票(マニフェスト)は5年間保管すること 	2025年 6/30	北口
	<ul style="list-style-type: none"> ・6/30までに1年間の使用状況を金沢市に報告すること 	2025年 6/30	北口
騒音規制法 振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設(機械)を把握する ・定期的にメンテナンスをして、規制基準を遵守する ・大村印刷(株)の湊1丁目は規制区域外である 	2025年 6/30	北口
消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・少量危険物貯蔵取扱い許可 第1石油類(ガソリン)36ℓ 第2石油類(灯油) 36ℓ 第4石油類(マシン油)18ℓ 	2025年 6/30	北口
フロン排出抑制法	業務用エアコンの室内機及び室外機において 「異常振動・異常音」「油にじみ」 「損傷、腐食」「風量・送風温度異常」を 定期的にチェックして記録する	2025年 6/30	北口

環境関連法規の違反及び苦情等はありませんでした。

なお、関係当局より違反、訴訟等の指摘は過去3年間ありませんでした。

VIII. 代表者による全体評価と見直しの結果

大村印刷25期は、必須3項目の実績値で減少する結果となった。

環境経営方針は、変更なし継続とする。

26期の環境経営目標・計画は、付加価値当たりの排出量を前期比1%削減、リサイクル率は現状維持とする。

実施体制に変更はありません。

2025年8月1日

大村印刷株式会社

代表取締役社長 能登 健太郎